

やまぐちっ子学力向上だより

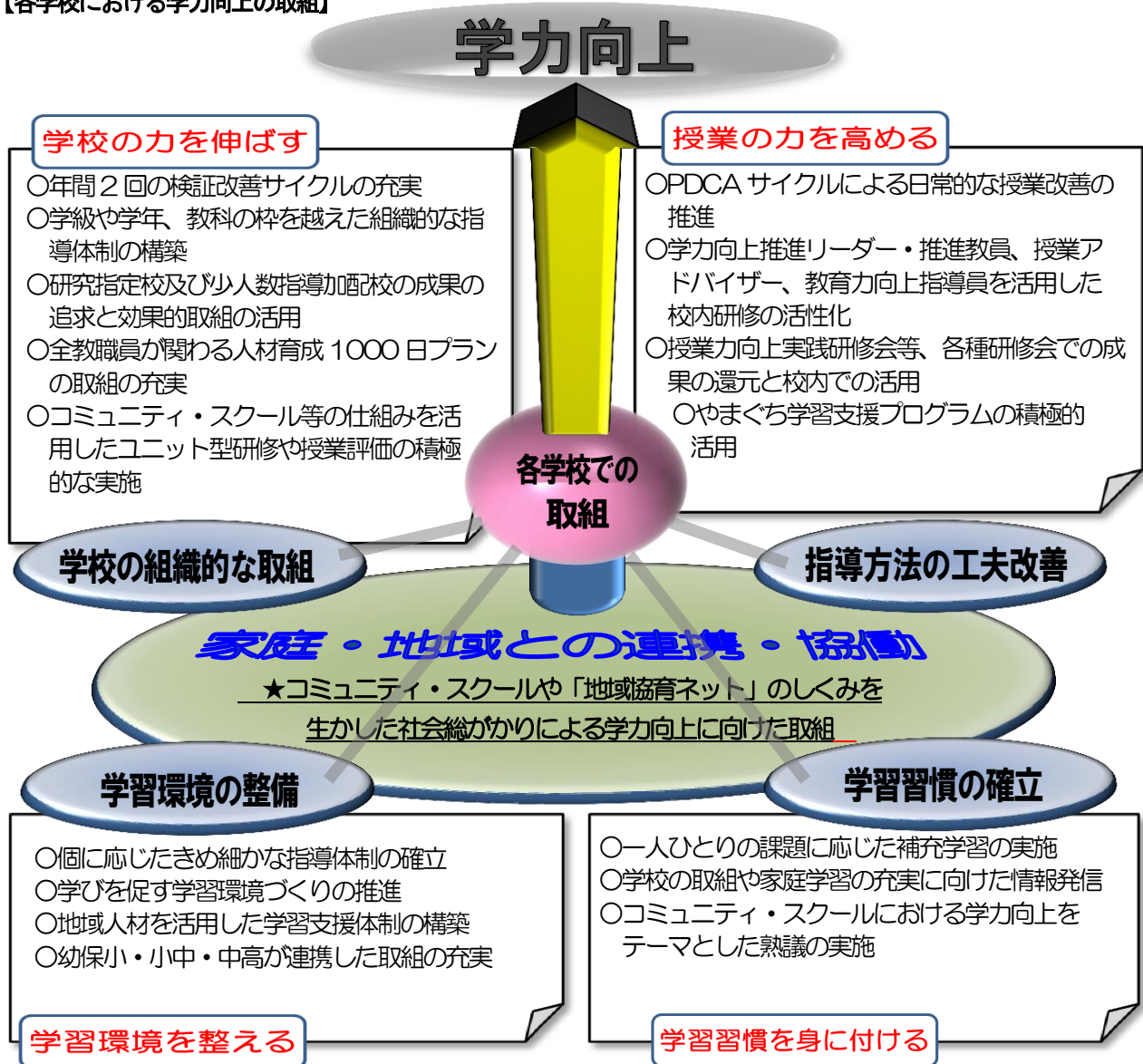
第 7 6 号 H28.4.13
山口県教育庁義務教育課

平成28年度学力向上の取組について

~ 「確かな学力」の育成に向けて、これまでの取組の徹底を図ることが重要です ~

山口県教育委員会では、学力向上に向けて、「学校の組織的な取組」「指導方法の工夫改善」「学習環境の整備」「学習習慣の確立」の4つの重点取組事項、それら全ての基盤となる「家庭・地域との連携・協働」を引き続き推進し、市町教委と一体となって、各学校の取組を支援します。

【各学校における学力向上の取組】



それぞれの学校に通う子どもたちが、「わかる楽しさ」や「できる喜び」を実感する毎日を送ることができるよう、各学校で学力向上に関する取組を進めていきましょう。

学力向上に関する取組の中で、特に重視したいのは、「**日常的な授業改善**」です。各学校におかれましては、4つの重点取組事項に注目しながら授業改善を進めてください。

「学校の組織的な取組」～みんなで一緒に授業改善を進めましょう～

それぞれの教員がバラバラに取組を進めても、大きな効果は期待できませんし、十分な検証もできません。学校が直面している課題を明確化し、組織全体で共有することで、学校としての授業改善の方向が定まります。授業研究を伴う校内研修を、年間2回の検証改善サイクルの中に位置付けて、全校体制で取組を進めましょう。なお、校種間連携を生かした研修、地域の方や保護者も加わったユニット型研修などによる授業改善も、多様な意見を取り入れることができ、効果的です。

「指導方法の工夫改善」～授業改善のポイントを共有して授業改善を進めましょう～

めざす授業の姿をイメージし、その実現に向けた改善のポイントが共有できていないと、大きな効果は期待できません。授業前半の「学習の見通しを立てる活動」と、授業終末の「学習を振り返る活動」が、授業を構成する基本的な要素になります。授業の目標（めあて・ねらい）を提示し、子どもたちと共有することは、学習の見通しを立てる活動の要となります。また、授業の終末部では、学習内容をまとめ、学習過程や学習方法を振り返るための時間を十分に確保しましょう。さらに、子どもたち自身が課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの活動を、授業に積極的に取り入れましょう。このようなアクティブ・ラーニングの視点も重要です。

「学習環境の整備」～一人ひとりの良さを大切にする雰囲気の中で授業改善を進めましょう～

子どもたちが落ち着いて学習課題に向き合うことができる学習環境がなければ、授業改善は進みません。発表の仕方やノート整理の方法など学習に関する基本的な約束事を、年度初めに徹底しましょう。また、学習の成果が見える教室掲示を心がけたり、互いの良さを認め合う話し合い活動を行ったりするなど、子どもたち一人ひとりの良さを大切にする雰囲気をつくり、授業改善の基盤を整えましょう。

「学習習慣の確立」～家庭における学習とのつながりを意識して授業改善を進めましょう～

家庭学習が充実していなければ、授業で学んだ学習内容の確実な定着を図ることができません。授業以外の学習時間を確保し、家庭や地域においても、自主的・継続的・計画的に学び続ける子どもを育てることが求められます。宿題を確認する中で多くの子どもがつまづいた問題を授業で取り上げて学び直したり、学習計画の立て方や効果的な学習方法の例を紹介したりするなどの働きかけを進めましょう。

「**日常的な授業改善**」の成果が実感できるまでには、時間がかかります。あきらめずに、全校体制で具体的な取組を徹底して行うことで、子どもたちの学力をさらに高めていきましょう。

準備をよろしくお願いします ～全国学力・学習状況調査～

4月19日（火）に、全国学力・学習状況調査が実施されます。子どもたちが普段の力を十分発揮できるよう、各学校で事前に実施体制を確認し、滞りなく調査が実施されますようよろしくお願いいたします。

- 落ち着いた雰囲気の中で調査当日を迎えられるよう、学習環境の整備に努めましょう。
- 春休みの宿題の回収、事後指導を通して、学習内容の積み残しを解消しましょう。
- 調査後の採点、学力分析支援ツールへの入力と結果分析など、組織的な取組をお願いします。

＜学力分析支援ツールへの入力完了：5月13日（金）＞

